

【三芳町】
校務DX計画

GIGAスクール構想の下、学習者用タブレット端末の整備にあたり、校務DXを推進するため本町における現状と課題を分析し、今後の取り組みの方向性を示す。

1 現状分析と課題

(1) 現状

校務DXに関する項目	町の現状
クラウド活用	令和6年度にファイルサーバーのクラウド化を実施した。 令和4年度からオンプレミスによる統合型校務支援システムの導入を行い、令和9年度の次期更改にてクラウド化する予定である。
FAX	三芳町立各小・中学校情報セキュリティポリシーに基づき、原則禁止としている。送信相手がFAX受信を指定した場合にのみ利用する。
各種調査	各種アプリケーションの活用により、アンケートや集計作業の効率化が進んでいる。
押印の見直しと ペーパーレス化	統合型校務支援システムや出欠連絡アプリの導入により、児童生徒の情報の一括管理及び押印の見直し及びペーパーレス化が図られてきている。
情報共有体制の整備	教職員1人1人へ端末及びアカウントを付与し、教職員同士でもクラウドを活用した情報共有体制を整えた。 令和6年度から町内教職員向けのポータルサイト「三芳町ICT活用推進サイト」を開設し、各学校で実践されているICT活用に関する事例の情報共有等が行える環境を整備した。

(2) 課題

①町内全校における一体的な校務DXの推進

②FAXの完全廃止

③教職員への各種研修の実施

(新しいシステム導入時、年度更新、端末を活用した授業づくり、転入職員向け)

3 今後の取り組み

(1) クラウドツールの活用促進

①統合型校務支援システムのクラウド化

計画的にクラウド化を進め、全ての校務データをクラウド上で一元管理できるように環境整備を進めていく。

②クラウドサービスの積極導入

各校にて文書作成、共同編集、スケジュール管理など、様々な業務にクラウドサービスを導入していく。

(2) 校務の効率化とペーパーレス化

①保護者への通知のペーパーレス化

全小中学校にて出欠連絡アプリを導入することで、保護者への通知や調査等の電子化を進めていく。

②採点業務の効率化

中学校において、デジタル採点システムの導入を実施する。

(3) 教職員への研修

新しいシステムの導入に伴う操作研修やクラウドを活用した校務DXに向けた活用推進研修を実施し、円滑な運用を支援する。

(4) FAXの原則禁止

①三芳町各小・中学校セキュリティポリシーの周知

学校におけるFAXでのやり取りを、電子メールやオンラインシステムで行えるよう、関係各課及び外部機関等への周知を図る。

②スキャナ機能の活用

紙ベースの書類はスキャナでデジタル化し、電子データとして電子メールやオンラインシステムによる送受信を徹底していく。